



あなたの会社は 働きながら介護ができますか？

仕事を続けながら家族の介護などを担う「ビジネスケアラー」は、

2030年には全国で300万人を超えると予測されています。

これは特別な一部の従業員だけの問題ではなく、誰もが直面し得る課題です。

今後、企業には「仕事と介護の両立支援」が不可欠となります。

両立支援をしないと…

- 業務遅延・生産性低下
- 離職者の増加
(特に40～50代の中核人材が流出)
- 業績目標の未達
競争力の低下

両立支援をすることで…

- 生産性の維持
- 人材の確保
(離職防止・採用力の向上)
- 業績の維持・向上
競争力の維持

介護をしながら働き続けられる職場づくりを

“支える人”を支える姿勢が、企業にとってもよい循環を生み出します。

ビジネスケアラーの実情

自身の介護状況開示に消極的

キャリアへの影響を懸念
自覚のないまま緩やかに進行

介護状況は多様かつ可変 将来予測も困難

当事者になる時期や介護の期間
負担の程度は様々

肉体的負担だけでなく 精神的な負担も増加

関係機関とのやりとりや
意思決定に伴う精神的な負担も

企業に期待される事項

企業内の実態把握の推進

定期的なアンケートや聴取により
従業員の状況を把握

情報発信によるリテラシー向上 個別相談の充実

プッシュ型の情報発信
個別相談に応じる窓口の設置

人事労務制度の充実 当事者コミュニティの形成

柔軟な働き方(テレワーク等)の推進
従業員同士の共有・対話の場の設定

仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン



経済産業省ウェブサイト

企業による社員の仕事と介護の両立支援に向けた実務的な支援ツール



厚生労働省ウェブサイト

両立支援に取り組む企業への支援

仕事と介護を両立できる職場環境づくりのための取組を行った中小企業事業主の皆様は、
「両立支援等助成金」(介護離職防止支援コース)などの支援を受けられる場合があります。

介護休業制度(育児・介護休業法)についても、こちらでご案内しています。